

令和4年度電源立地地域対策交付金の活用 (農業試験分析機器等の整備)

電源立地地域対策交付金は、発電用施設の周辺地域における公共用施設の整備や企業の産業関連技術の振興のための事業に対して交付金を交付することで、発電用施設の整備に係る地元の理解促進等を図ることを目的としています。

令和4年度はこの交付金を活用して、農林水産研究所、果樹研究センター、久万高原農業指導班において次の5つの機器を導入しました。

米麦種子一貫調製装置 (農林水産研究所)

水稻・麦原種の調製においては、品種の持つ遺伝的特性を維持し続けることが求められます。

今回導入した機器は、優良かつ均一な種子が選別できる調製装置であり、水稻「ひめの凜」等の優良種苗配布に向けた原種の調製に使用します。



人工降雨装置（果樹研究センター）

病害の生態に応じた効果的な薬剤散布を行うためには、降雨の影響を評価する必要があります。

今回導入した機器は、実験に必要な自然状態に近い降雨の再現ができる装置であるため、降雨の影響による病害虫の発生メカニズムの解明や農薬等の耐雨性の評価に使用します。



高速冷却遠心機（果樹研究センター）

果樹の栽培試験においては、樹体内の貯蔵養分の測定等を行う必要があります。

今回導入した機器は、強大な遠心力で試料を構成する成分を分離または分画するサンプル調整に使用します。



トラクター（付属：ミニローダー）（久万高原農業指導班）

久万高原農業指導班では、野菜や水稲の実証栽培を行い、中山間地農業の課題実証を行っています。

今回導入した機器は、実証ほ場の耕起、深耕、土づくりに必要な堆肥の切り返しや運搬に使用します。



環境モニタリング制御試験システム（農林水産研究所）

大規模サトイモ栽培における収量向上のためには、作業時期が遅れないようかん水等の栽培管理に関するアラート提供が求められています。

今回導入した機器は、温湿度、土壤水分含量等を計測し、品質向上を実現するための最適な環境条件を明らかにするとともに、それら環境データを用いた最適な環境制御を行うために使用します。

